学校番号	3032B

令和８年度　専家庭

教科	専家庭	科目	保育基礎	単位数	１単位	年次	２年次後期
使用教科書	保育基礎　（実教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・実習を通して、子どもの衣服や生活と養護を確認していきます。積極的に取り組みましょう。
・親子交流実習・施設見学を通して、幼児の観察を行います。意欲的に参加しましょう。

2　学習の到達目標

・保育の意義や方法，子どもの発達と生活の特徴，子どもの福祉や文化に関する知識や技能を習得する
・保育や子育て支援に関する課題やその解決策について考え、表現できる
・保育や子育て支援に寄与する資質・能力を主体的に身に付けられるよう努力することができる

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	保育に関する基礎的･基本的な技術を総合的に身につけている。子どもの発達の特性，生活と保育に関する知識を総合的に身につけている。	子どもの発達や保育に関わる現状について理解を深めた上で課題を見つけ，その解決をめざして思考を深め，適切に判断し，工夫し創造する能力を身につけている。	子どもの発達や保育への関心を持ち，意欲的に学習に取り組み，子どもの健やかな発達や保育に寄与していこうとする実践的な態度を身につけている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
後期	子どもの遊び	子どもの遊び	a: 遊び、生活習慣の形成の意義と重要性を理解している。 b: .子どもの発育・発達を促すための望ましい生活の諸条件について思考し、考えをまとめている。 実習を通して、子どもの遊びや生活習慣の形成に必要な養護の技能を身に付けている。 c: 子どもの遊びや生活習慣について関心をもち、学習に取り組もうとしている。	実習・考査	実習・実習レポート	ワークシート・実習
		親子交流実習				
	発達と保育環境	これからの子育て支援	a: 児童福祉の考え方やそれに関わる制度の知識を身に付けている。 b: 子どもを健やかに育てていくためには、具体的な施策が必要であることがわかり、今後の施策の方向性などを判断することができる。子どもの発達には、人々との関わりを中心にさまざまな条件や要素が必要であることを理解し、その関わり方について考察している。 c: 子育て支援に関わる法律・制度・機関等について関心をもっている。子どもの発達の特徴について、意欲的に理解しようとしている。	実習・考査	レポート	ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度